

デジタル・デンティストリー最前線

秋期オンライン歯科講座

参加無料

【対象者】 歯科医師・歯科技工士（質疑応答あり）

「YAMAKIN大阪サテライトスタジオ」からZoomウェビナー配信

第1回

CAD/CAM冠の材料特性を活かした適用

10月21日(金) 19:00 ~ 20:00



第2回

ジルコニアの効果的な適用について

11月18日(金) 19:00 ~ 20:00



第3回

歯科臨床に実用可能な3Dプリンターの特性について

11月25日(金) 19:00 ~ 20:00



講師：末瀬 一彦

SUESE Kazuhiko

略歴

1976年3月 大阪歯科大学 卒業
1980年3月 大阪歯科大学大学院 修了
1990年4月 大阪歯科大学 講師(歯科補綴学第2講座) (~1997)
1997年4月 大阪歯科大学歯科技工士専門学校 校長 (~2016)
2008年4月 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校 校長(兼務 ~2014)
2014年1月 大阪歯科大学歯科審美学室 教授(兼務 ~2017)
広島大学歯学部 客員教授(以下、現在の役職です)
2017年4月 大阪歯科大学 客員教授
昭和大学歯学部 客員教授
東京医科歯科大学 非常勤講師
岡山歯科技工学院 非常勤講師
2019年7月 奈良歯科衛生士専門学校 理事長
2020年1月 京都インプラント研究所 所長
2021年6月 (一社)奈良県歯科医師会 会長
2022年4月 近畿北陸歯科医療管理学会 会長

学会関係役職(2021年7月1日現在)

(一社)日本デジタル歯科学会 理事長
(一社)日本歯科技工学会 監事
(一社)日本歯科審美学会 顧問
(公社)日本補綴歯科学会 名誉会員(2018.4~)
(一社)日本歯科理工学会 名誉会員(2018.4~)

学会専門医

日本補綴歯科学会 専門医・指導医
日本口腔インプラント学会 専門医・指導医
日本歯科審美学会 認定医
日本歯科理工学会 シニアアドバイザー
日本歯科医療管理学会 認定医

●参加登録「申し込みフォーム」

事前に申し込みフォームより参加登録をお願いします。
登録いただいた方へZoom接続URLをお知らせいたします。

<https://www.yamakin-gold.co.jp/mf/2022suese/>

※終了後、オンデマンドで2週間見逃し配信を行います。参加登録された方には、後日URLをご案内いたします。



KZR-CAD HR ブロック2 BG 管理医療機器 歯科切削加工用レジン材料 認証番号：302AABZX00039000
KZR-CAD HR ブロック4 イーバ 管理医療機器 歯科切削加工用レジン材料 認証番号：302AABZX00064000
KZR-CAD HR ブロック3 ガンマシート 管理医療機器 歯科切削加工用レジン材料 認証番号：229AABZX00114000

KZR-CAD ジルコニアグラデーション SHT/HT 管理医療機器 歯科切削加工用セラミックス 認証番号：228AFBZX00044000
TRS 3D プリンター XL 4K一般医療機器 歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット 届出番号：3982X10002000023
製造販売元：YAMAKIN 株式会社 〒781-5451 高知県香南市香我美町上分字大谷 1090-3

主催 YAMAKIN

後援



一般財団法人
ヤマキン学術文化振興財団

各回の詳細は裏面に ▶

第1回 CAD/CAM冠の材料特性を活かした適用

10月21日(金)

CAD/CAM冠は2014年に保険導入され、小白歯、第一大臼歯、前歯部と適応範囲が拡大されてきたが、12%金銀パラジウム合金の高騰もあって、徐々に臨床応用が進んでいる。CAD/CAM冠の臨床成績を上げるためには支台歯形成、適合性そして接着操作がポイントである。さらにCAD/CAM冠に求められる要件として、強度、耐久性、審美性などが挙げられるが、各材料には特性があり、十分理解して用いることが重要である。現在市販されているレジンプロックは、機能区分Ⅰ～Ⅳまで分類されているが、強度的には十分な曲げ強さ(200～270MPa)、ビッカース硬さ(50～85HV)を示し、さらにフッ素徐放性などの特徴を有する製品もある。また、最近では前歯部への適用に際して、より審美的な再現をするためにキャラクターライズされた色調を再現するためのコーティング材の開発も行われている。材料の年間出荷量においても他の材料を凌ぐ量を示している。

第2回 ジルコニアの効果的な適用について

11月18日(金)

ジルコニアは、CAD/CAMテクノロジーの普及によって歯科治療に臨床応用されるようになってきた。ジルコニアを歯冠修復に用いる場合、最大の特性である耐久性、耐摩耗性を発揮するためには、最終的に行う表面の研磨状態が極めて重要となる。また、最近ではジルコニアの種類が豊富となり、適応症に合わせた選択をしなければならない。すなわち、透明性、強度、審美性を考慮し、その特性を活かした素材の選択が必要である。個々の歯の色調にマッチした審美的修復においてもモノリシックジルコアで十分対応できる製品もラインナップされている。また、支台歯への接着についても歯質側の素材への対応、ジルコニアクラウン内面の前処理が重要で、固定性修復物として脱離しない対応が求められる。

第3回 歯科臨床に実用可能な3Dプリンターの特性について

11月25日(金)

歯科用CAD/CAMシステムにおいて、最終的に装置を具現化する加工装置には切削加工および付加造形加工があり、3Dプリンターは付加造形加工に分類される。

付加造形加工の特長は、一度に多数個の製作、中空や可撤式装置の製作も可能で、廃棄する材料部分が少なく、切削加工機に比較して安価であることである。3Dプリンターは工業界においてすでに実績があり、歯科領域に適用される造形法は主として樹脂系では液槽光重合法、金属系では粉末床溶融結合法である。特に臨床的応用として注目されているのが作業模型などを製作する光重合法であり、最近では表面性状や再現精度、製作スピードが向上し、通常の臨床応用にも対応されている。特に、口腔内スキャナーとの連動では印象材や石膏が不要で、作業模型を製作することができる。